



くまきよしき 市政レポート第1号!

昨年の高岡市議会議員選挙にて、初当選をさせていただくことができました。

26歳の若者に、想いを託していただいた皆様のお支えあっての結果だったと感じます。

政治信条は「30年後を見据えた市政」に変わりありません。

ようやく実現へのスタートラインに立つことができました。

これからは未来の高岡のため、全身全霊で、このまちの政治に取り組んでまいります。

高岡市議会議員

熊木義城

くまき よしき

27歳

成美小、志貴野中、高岡南高、立命館大卒
株式会社パソナグループ、京都市議会議員秘書
を経て高岡市議会議員選挙に当選。
現在1期目。「高岡愛」会派所属。

初議会! 12月定例会での一般質問

毎年5000万円の赤字!?

市民に知られざるデザイン・工芸センターについて

私は今回、高岡市の「デザイン・工芸センター」という施設について詳しく質問しました。多くの市民の皆様にはあまりなじみのない施設かもしれません。

高岡市の公共施設はたくさんありますが、「デザイン・工芸センター」に焦点を当てた理由は、利用者が他の施設に比べて、非常に少なかったからです。加えて、収支状況も悪く、他施設よりも比較的大きな赤字を出していました。

もちろん、収支状況が悪いだけで廃止すべきという乱暴なこ

とを言うつもりはありません。しかしながら、例えば、「高岡御車山会館」の令和元年度の収支はマイナス3400万円になりますが、そのぶん、利用者数は、約25000人です。

対して、デザイン・工芸センターは年間2000人ほど。利用者も他施設と比べて少ない施設を、毎年大きな赤字を出しながら運営することが、本当に正しいのでしょうか。このような想いから、今回の質問を作成しました。

デザイン・工芸センターの役割は。

デザイン・工芸センターは、地場産業にかかるデザイン開発、人材育成などの企業支援を行い、地域産業の振興と発展を図るという役割を担っている。具体的な事業は、伝統産業後継者育成が目的の「伝統工芸産業人材養成スクール」、関連企業と製品の開発に取り組む「新クラフト産業・デザイン育成支援事業」がある。



デザイン・工芸センターの過去3年間の利用状況と収支状況は。

【利用状況】

H30年度	2632人
R1年度	2022人
R2年度	1782人

(コロナの影響もあり)

【収支状況】

	収入	<>	支出	=	収支
H30年度	279万円	<>	5252万円	=	(-4973万円)
R1年度	160万円	<>	5216万円	=	(-5056万円)
R2年度	197万円	<>	5238万円	=	(-5041万円)

